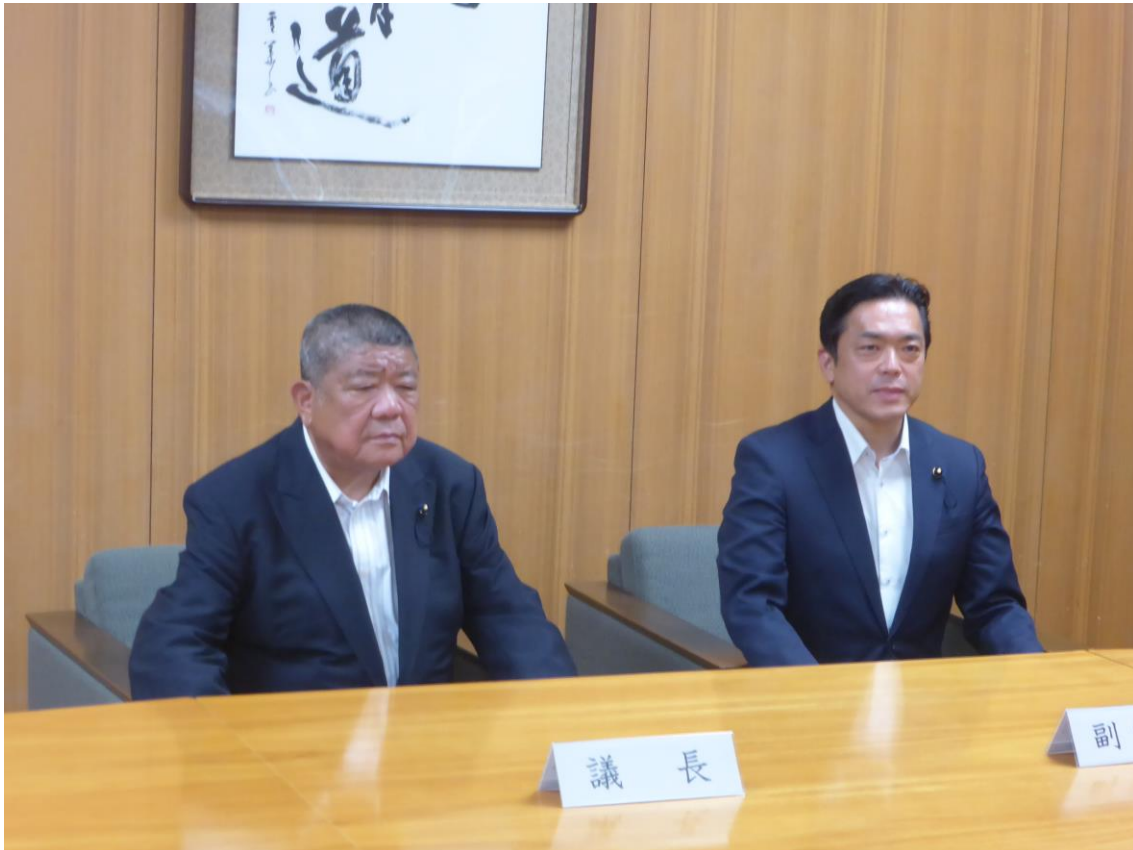


◆ 議長記者会見概要

日時：令和5年5月24日（水）17：48～18：12

場所：県議会棟理事者控室

出席者：岩田国夫議長、池田慎久副議長



岩田国夫議長

池田慎久副議長

<就任にあたって>

（岩田議長）

この度、多数の議員各位のご支持により、引き続き議長に選出していただきました。この職につきましたことは、誠に光栄に存じますとともに、その責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

現在、奈良県議会では、政策提案や情報開示等、開かれた議会を目指して積極的に取り組んでおり、県民の皆様により分かりやすい運営に引き続き取り組んでいきたいと思っております。

二元代表制の一翼を担う議会の代表者として、理事者とも十分議論しながら、より良い県勢の発展のため、職責を全うする所存でございます。

県民の皆様をはじめ、知事・市町村長並びに報道機関の皆様方には、一層のご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

(池田副議長)

この度、多数の議員各位のご支持により、副議長に選ばれ、誠に光栄に存じますとともに、その職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。

今後も県勢の課題に関して十分議論を尽くしながら、さらなる議会改革に向け、県民の皆様のお声に耳を傾け、議会機能を十分に発揮し、議長を補佐していく所存でございます。

関係各位の皆様には、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

Q：来月から6月定例会が始まります。今回は山下知事の就任で、山下知事が大型事業の見直しなどを今打ち出していて、それが議案として反映されて提案されるものと見られます。6月定例会に向けて、どのように知事・理事者側と対峙していくか、その心構えをお聞かせください。

(岩田議長)

山下知事の発表では、21項目について見直すということをおっしゃっています。

私どもも、その21項目について十分精査・協議をして、その中で、どうしてもこれは譲れないというものもあると思います。その時は、どのようにしてやっていくのかということこれから議会の皆と議論していきたい。

そしてまた、執行機関に対しての監視機能や政策立案機能を十分に発揮して、開かれた公正な議会運営をしていきたいと思っています。

Q：現時点で知事が示されている改革の中身に関しては、どのように受けとめていらっしゃるのでしょうか。また、理事者側からの説明のあり方などについては、どう感じているのでしょうか。

(岩田議長)

今こうして決まり、私たち各会派は明日からです。我々も新聞紙上でしか今、分かっていないわけです。

五條市の大規模広域防災拠点や、大和平野中央田園都市構想、中央卸売市場の見直しなど、私が一番気にしているのはリニア中央新幹線の奈良市附近駅のことについてですが、明日から、本当に協議していきたいと思っています。

Q：今回、議長選挙、副議長選挙、いずれも最大会派である自由民主党・無所属の

会から選出されるという結果になりました。

今回これまでの三つの会派、また無所属の方も加わって、単独過半数での会派からの議長、副議長として選出をされているわけですが、今後どのように県議会の運営を進められていくお考えかお聞かせください。

(岩田議長)

日本維新の会もいろいろな提案をしてこられると思いますが、私どもも、対案をその都度、出していきたいと思っています。

これから、あらゆる分野において、4つの会派で、十分協議してやっていきたいと思っています。

(池田副議長)

今改選によりまして、新人議員が約4割という形になりました。

若い方も増えましたし、今の時代に合った形で、しっかりと議会が円滑に進むように議長を補佐していくのが、副議長である私の役割ですし、また務めだと思っています。

自由闊達な意見が交わされ、より良い方向に県勢が向かうように、我々としてもしっかりと頑張っていきたいというのが私の思いでございます。

Q：先ほどの議長の話の中で、知事の提案の中でも譲れないものもあると思うというお話でしたが、逆に言えば何でもかんでも反対ではなくて、内容によっては事業提案に賛成していくということでしょうか。

(岩田議長)

それは物事によります。正直に言って一番辛いのは、昨年私たちが前知事の提案を通したものを見直されるわけですので、その見直しの中で、何としても県民のためにはこれは残していただきたい、これは譲るかなど、県民の立場で、皆様方にご納得いただける方向性に持っていきたいと思っています。

先ほど言いましたように、私たちは21項目をこれから勉強していかないといけません。明日からが私たちの活動ですから。

(終了)